



特集 京舞と狂言

— 2P-5P

特集 20周年記念コンサート

吉田兄弟「三味線だけの世界」

— T・2P-T・5P

集

ホワイエ

— 6P-7P

4～8月公演スケジュール

— 8P-11P



## 京舞と狂言

2019年5月25日(土) 14:00

会場：春秋座

### 【演目】

京舞 上方唄『三国一』  
さんごくいち

京舞 地唄『鉄輪』  
かなわ

狂言 『因幡堂』  
いなばどう

《トーク》

茂山忠三郎、井上安寿子

聞き手：田口章子（京都造形芸術大学教授）

京都の地で伝承され、独自の文化を育んでいる「狂言」と「京舞」。異種芸能でありながら両者が共通に持っているテーマを取り上げ、比較上演する公演です。出演は共に京都造形芸術大学を卒業した京舞の井上安寿子、狂言の茂山忠三郎。三年連続企画を予定しており、初回2019年度のテーマは「女」。京舞は『三国一』と『鉄輪』の二番を、狂言は『因幡堂』を上演いたします。

●公演情報の詳細はスケジュール一覧（P.10）をご覧ください。

# うちは代々、「父を踏み台にして上って行け」という教えなんです

——忠三郎

先代は先代だし自分は自分。

そこで、どう自分自身を見せていけばいいのか

——安寿子

— お二人は京都造形芸術大学（以下、造形大）のご卒業ですが、入学のきっかけを教えてください（以下、忠三郎=忠、安寿子=安）

忠 僕は狂言一本で生きて行こうと思っていたので、ずっと高卒でいいかなと思っていたんです。ですが家族が大学を卒業しろと言ってくれて、それが造形大に入った理由です。

安 私も似ているんですけど、京舞の家に生まれて、ずっと京舞関係者から「いつ学校卒業するの?」と言われ続けていて。いつ京舞の方に入るのかということなのですが、だから高校卒業したらすぐに入らなければいけないと思ったんですね。それが中学三年生の春休みに先代が亡くなりまして、その時、母に「あんた大学いってみるか?」って言われたんです。「え!大学に行くという選択肢があるの?」とびっくりしたのですが、「そういうことも考えていいんじゃないの?」と言われて。それで「ちょっと考えさせてください」と返事をしたまま、うじうじ考えていたのですが、母に「京都で舞台関係なら造形大があるよ。古典芸能も教えている学校だし、ちなみに私も（教えに）行っているよ」と言われまして（笑）。それでもまだ悩んでいたんですね。実のところ母はいつそのこと東京にやってしまうのも良いかと考えていたようなのですが、私は母に教えを乞う身分なので、京都にいないと舞の稽古ができ

ないですからね。せめて近畿にいないといけないと思って。最終的に勝手に造形大のAO入試を受けました（笑）。

忠（笑）

安 これで落ちたら大学へ行くの辞めようと思って。それが高校三年生の夏休み。本当に舞台芸術を勉強したいと思っている人にとっては中途半端なことで大変、失礼な話なのですが。でも一回、外の世界を見てみるのもいいんじゃないかなと思って。

忠 僕もきっかけはそんな感じ。そして入ってからの衝撃、特にコンテンポラリーダンスを見た時の衝撃はすごかったですね。

安 すごかったですよね!急に裸になって踊り出したりとか…

忠 これ、芸術って言うていいのって?

安 そう。最初は、何を表現しているのか分からなかったですね。

それから自分がここで、こういうことをしたいと思っていたら、どこでも劇場になるということ。私たちは、やはりお舞台で足袋で舞うので、路上ではできないけれど、こんなところも劇場になるんだ!というのも衝撃でした。

— お二人は家元の家に生まれて、あたりまえのように狂言、京舞をやるうと思ったんですか?

安 いや、私は大学に入ったことがある種、抵抗だったと思います。ちょっと遠回りしてやろうという

（笑）。まあ、戻ってきていますけれど（笑）。

忠 僕は受け入れていましたね。幼稚園の作文にも狂言師になるって書いていたみたいです。だから小学校の時に「将来の夢」という作文を書けなかったんです。多分、安寿子ちゃんは大学で色々なことを勉強させていただきますという、プラスの方向の回り道だったんですが、僕は逃げ出させてもらおうという回り道。もう少し遊ばせてもらおうという。

安 私は楽道家なので、まあ、なるようになるだろうと。結局、祇園町にいたら、周りから「頼みませ!」と言われるので。どうしてもやらんならん気になりますから（笑）。

忠 僕が大学に入るきっかけは遊ぶことだったのに、行ってみたら思いのほか面白くて本気で学ぼうと思ったという感じです。

## 裏方の仕事

— 忠三郎さんも安寿子さんも学生時代は照明を勉強されていましたが、それは自分の芸の役に立つからという思いがあったんですか?

安 はい。将来、自分は立方になるので、学生時代は裏方の勉強をしようと思ったんです。

忠 おなじ!一緒だね。そういうところは。

安 実際に勉強してみて驚いたのは、1つの舞台を創り上げるために、ま



ず企画が立ち上がり、本番までに色々な仕事があり、当日も照明さん、音響さん、その他、舞台関係の方がいてくださって、終わってからも後処理がある。そういうことを舞台に関わる家に生まれているのに全く考えたことがなくて。こんなに大変なんだということが分かりました。

**忠** 基本的に僕も同じです。一生、立方なので、学生だからこそやれることを学びたいと思うようになったのが1回生の時。四代目市川猿之助さんに出会ったからです。あの方は見せ方が上手いんです。その見せ方を勉強するには、もちろん自分の芸を精進することもあります。何か他にないかなと思った時、能狂言にとって、光が一番なのではないかなと思ったんです。

そして、僕の家は舞台の上がメインなので、学生時代はそれ以外のところから舞台を見たいというのがあって。舞台を一番、客観的に見える場所を考えた時、照明のオベ室と舞台の真上がそれでした。舞台の真上は照明を仕込む人間でないといけないし、そこからなら舞台が立体的に見えると思って。照明をやってみて面白かったですね。

#### 師を、親を超えるということ

**忠** 安寿子ちゃんは、このまま順当に修行を積んで、いずれ自分の代に

なって、今のお母さまの年になった時、今のお師匠さんを超えられていると思う？

**安** それはやってみないと分からないので何ともいえないですけど、超えられているかという点でいえば、超えられないんじゃないかな。お師匠さんを越えるとか、超えないとか考えたことないです。

**忠** うちの代々、「父を踏み台にして上って行け」という教えで、父に「俺を超える役者になるように頑張らないと家というものは守れないのだよ」と言われてきたので。

**安** そうじゃないとどんどんランクが下がっていっちゃいますからね。

**忠** そうそう。だから父を超えるように精進しなさいという教えなんです。そういうところでは、僕は父が学ぶことがなかった舞台の理論、見せ方、見え方を学んだつもりでいるので、このまま順当に父の年齢になったら父を超えられるんじゃないかなと思うんです。図々しいかもしれないけれど、役者ってそう思っていないとやっていけないところがありますよね。

**安** うちの場合は先代がすごすぎて。井上流のカリスマ、もはや「神」として、うちの中で崇められている存在なので。ただ、私にとっては、ひいおばあちゃんなので、そこまで距離を感じていなかったんです。入門も曾祖母にしましたし、普段から随分かわいがってもらいました。それが亡くなってから色々な演目をしていく上で昔の映像を観たり、話を聴いたりすると、やはりすごい方だと思う。母もやはりそこがネックというか。でも、超えるんじゃなくて先代は先代だし自分は自分。そこで、どう自分自身を見せていけばいいのか。そういう風にやっていかないと、とてもじゃないけれどできないですから。

お師匠さんは、すぐくまじめなんで

す。近年、身体が昔みたいに思うように動けなくなってきたと感じているようで、それをどういう風に突破していくか、年齢に打ち勝つか。そういうものに対峙している姿を間近で見ていると、最近、ちょっと気持ちが和らいできたのかなと思います。そういう姿を見ているので、先代を超えとかではなくて、自分自身に向き合って私の舞を見つけないかな感じですかね。まだ全然やったことない舞も、できてないことも沢山あるので何ともいえないのですが。それを言ってしまうと、じゃあ今、お客さまに何をお見せしているんやって話で…、私の成長過程を長いスパンで見えていただきたい、というしかないんですが(笑)。



#### 客観的に見る目を養うこと

— 以前、安寿子さんに『黒髪』を舞ってもらった時、非常に難しいテーマの舞なので、どういう風に役作りをしていくのですか？と伺ったら「自分の経験を役作りに活かしています」とおっしゃったのですが、やはりご自身の恋愛なんかも舞の表現に取り入れられるんですか？

**安** 最近、『葵上』を舞わしてもらった機会があって、色々考えていたんです。『鉄輪』や『葵上』は色々な経緯はありますが女の人が嫉妬して生霊になったり鬼になるという話。

役どころが全く違って片方が普通の人で、片方は高貴な人。だからどちらかという私は『鉄輪』寄りかな、『鉄輪』の方が好きだなと思っていたんです。気持ちをストレートに出せるから。

**忠** うん。

**安** 一方、『葵上』の六条御息所は高貴な人なので自分の気持ちをひた隠しにして、それでいてプライドが高いんです。

私は、舞うにしたがって自分のテンションが上がっていくというのがどこかにあるので、そういう気持ちを舞に込めたらいいと思っていたんです。感情をむき出しに舞うっていう。でも、気持ちも大事ですが、京舞では「お腹で舞う」ということをよく言われます。心は後からついてくるというような。だからもうちょっと内面に込めるといっか、滲み出るようにしたいですね。

京舞は表情を作らないので他の流派から比べたら顔で感情を表現しないんです。京舞をご覧になった木ノ下裕一さん(木ノ下歌舞伎主宰)が「どちらかというコンテンツに近いか」と言われていて、あ、そうかと思ったんです。気持ちをストレートに出さないのが京舞の良さかなと。

**忠** うん。美しさですね。

**安** うちの母はすごく饒舌で、そこも見習わないといけないと思っています。やはり流儀について話すことも多くなって、それに従って知っておかなくてはいけないこともあります。大学で色々な舞台を観たり、石見神楽に参加したりしたことで、外側から客観的に自分の流儀を見ることができたのが大きかったです。京舞って、こんなに認知度があるんだというのを知りましたし、特殊なんだということも知ってびっくりしました。だから、学生時代に流儀について客観的に見られたことで、

母からの受け売りだけでなく、自分の言葉で話すことができるようになったと思います。多分、大学に行かず、あのまま家にいたら人形だったと思います。

**忠** そうですね。安寿子ちゃんもそうだと思うけれど、僕もお師匠さんを忠実に再現するというような「人形」という言葉がぴったりだと思うのですが、それで終わっていたと思う。造形大に入ったからこそ、こういう考え方が持てるようになったということが大いにあります。

世阿弥の言葉に「離見の見」ってありますが、造形大に行かなければ、きっと、それを意識する役者ではなかったと思いますね。「離見の見」という言葉の意味を体感できるようになったし、生意気ですけど、それによって自分の芸は格段にアップしていると思いますね。

— この企画は3カ年のもので、今回が最初の1回目となります。お二方より意気込みを一言お願いします。

**忠** 今回に関しては相反するものができたらなと。今回のテーマは〈女性〉。例えていうなら、安寿子さんが丸という女性像を描くのであれば、狂言では四角という相反するものを表現できるようにしたいな、と思っています。そして第2回があるのであれば、同じく丸を表現してみたり、あえて二重丸にしたりと、先のことも考えながら作りたいです。

**安** とにかく一生懸命がんばります！同じ伝統芸能ではありますが、二つは見せ方が違いますよね。私たち京舞は一切、セリフを言いませんが、狂言はセリフもあり、動きもあります。その中で共に物語を展開していきます。

**忠** 京舞は家の外、狂言は家の中の女性像かなと思うんです。そういうところを狂言はザ・喜劇で見せられるように、がんばって演じます！

---

---

しげやまらちゅうざぶろう  
**茂山忠三郎**

昭和57年京都に生まれる。能楽師大蔵流狂言方。茂山忠三郎家、四世忠三郎の長男。父に師事。4歳にて「伊呂波」のシテで初舞台を踏む。その後「釣狐」「三番三」「花子」など秘曲、重曲を異例の若さで上演。海外への芸術文化交流にも力を入れアメリカやヨーロッパなど海外公演も多数。平成17年京都造形芸術大学卒業。平成21年度文化庁文化交流使。能楽協会京都支部所属、京都能楽会会員。京都造形芸術大学非常勤講師。《忠三郎狂言会》代表、猿楽會主宰。平成29年五世茂山忠三郎襲名。平成25年文化庁芸術祭賞新人賞、平成28年京都府文化賞奨励賞、平成30年度京都市芸術新人賞受賞。

---

---

いのうえやすこ  
**井上安寿子**

京舞井上流五世家元井上八千代の長女として京都に生まれる。平成3年、四世及び五世井上八千代に師事。平成4年「四世井上八千代米寿の会」にて初舞台(上方唄「七福神」)。平成18年井上流名取となる。平成23年京都造形芸術大学卒業。平成25年井上安寿子主催の京舞公演「葉々(ようよう)の会」を発足。第50回なにわ芸術祭新進舞踊家競演会において新人賞受賞。平成27年より学校法人八坂女紅場学園の舞踊科教師に就任。平成27年度京都市芸術新人賞受賞。平成28年伝統文化ポーラ賞奨励賞受賞。平成30年東京新聞第1回日本舞踊新鋭賞受賞。

---

---

## 最も優しくて強い、マームとジプシー作品

この4、5年で大きくイメージが変わったものに、子ども（ファミリー）向けの舞台がある。“子どもだまし”という言葉は、演劇の世界では通じなくなった。共有できる言葉が限られ、何に興味を持つか予測不能で、飽きたら即座に態度に出す子どもを念頭に置くことは、優れたつくり手のやる気に火を点けるらしい。前川知大、岡田利規、ノゾエ征爾、森山開次ら気鋭の演劇作家やダンサーが次々と良作を創作し、いまや一般の演劇ファンも見逃せないジャンルになっている。

藤田貴大は昨年、そこに手を伸ばし、大きな成果を静かに上げた。4歳以上の子どもとその保護者を対象に依頼されてつくった『めにみえない みみにしたい』は、マームとジプシーの中で最も優しく、最も強い作品ではないかと思う。おねしょという、いかにも子ども限定のキーワードを入口にしなが、五感全部を稼働して表現を受け止める自由、子どもも大人も演者も観客も同じ空間にいる平等な感覚、どこを観るか

はひとりひとりの自由という、演劇ならではの贅沢さを示す作品だからだ。演劇は椅子に座って行儀良くという思い込みがあるが、本当は頭上を走る美しい布に触っても、音楽に体を揺らしても、子どもが笑って親が泣いてもいい。それくらい自由に遊んでも壊れない強度がこの作品にはあり、その強さは観る者の気持ちを安心して開放させてくれる。

実は、埼玉公演を観た時に1番印象的だったのは、同じ動作をスピーディに何度もリフレインし、複雑なフォーメーションを難なくこなす俳優たちを驚きの表情で見つめる親御さんたちだった。もしかしたら“俳優＝テレビに出ている人”という先入観があって、顔も名前も知らない、けれどとても美しい人たちが次々と繰り出す動きや言葉に、今まで自分が知らなかった場所にすごいものがあるらしいと気付いた瞬間だったのではと勝手に思った。大事なものは簡単には目に見えない。けれど劇場に行けば見えるかもしれないし、耳にできるかもしれない。この舞台で

そう感じる人が増えるといい。



徳永京子

演劇ジャーナリスト

朝日新聞、Web媒体、公演パンフレットなどに劇評、インタビュー、作品解説などを寄稿。東京芸術劇場 企画運営委員。せんがわ劇場企画運営アドバイザー。パルテノン多摩企画アドバイザー。著書に『「演劇の街」をつかった男 本多一夫と下北沢』（ぴあ）など。

### CLIP

## 渡邊守章前所長がレジオン・ドヌール勲章シュバリエ授与

舞台芸術研究センター前所長で、『緋子の靴』翻訳・演出など当劇場でも数々の公演に携わった渡邊守章氏が、フランス政府よりレジオン・ドヌール勲章シュバリエを授与され、1月9日に東京の仏大使公邸にて叙勲式が行われました。叙勲はポール・クローデルをはじめとする仏文学・戯曲の研究・翻訳・上演など長年にわたる功績が評価されたものです。



『緋子の靴』でブルエーズ役を演じた剣幸さんと

### BOOK

「文化を理解するには、その文化や時代に固有の価値観を知る必要がある」

新典社選書

## 『歌舞伎を知れば日本がわかる』刊行

京都造形芸術大学教授であり、人気講座「日本芸能史」の企画・コーディネーターである田口章子の新刊です。歌舞伎に描かれた女性たちを考察することで見えてくる日本文化の本質を探る歌舞伎鑑賞の手引書ともなる1冊。これを読めば2019年度の公開講座「日本芸能史」がさらに面白くなります！



田口章子/著 新書版224頁 1600円(税別) 新典社

## 男役から女優へ—華麗な？変身

鳳蘭、大地真央、天海祐希、真矢ミキ。この4人の共通点は宝塚出身であること。そして第一線で活躍する女優たちです。いずれも男役のトップスターでした。今や押しも押されぬ新しい日本を代表する女優でありエンターテナーですが、退団当初は男役のくせがなかなか抜けきらず、ずいぶんごちない仕種で見ていたこちらがはらはらさせられたものです。

入団前の宝塚音楽学校時代から男役としての鍛錬を重ね、20年間はオフでもスカートをはかないという生活をしてきた男役トップスターの女優への再出発には人知れない苦労があるようです。「長い間スカートには縁がなく、退団後もスカートをはく勇気がなくて、身に着けるまで一年かかった」というのは壮一帆。

着るものひとつとっても一苦労ですが、一番はやはり歌でしょう。それまで、男役として太いハスキーな声で台詞をしゃべり、テノールで歌ってきたスターが、退団後、急にソプラノの高い声で女性役を演じるのは並大抵のことではありません。

「昔妖精、今妖怪」と笑わせている涼風真世は、ミュージカル『回転木馬』のヒロイン役が退団後第1作でした。フェアリー系の男役だったので、女性に戻るのは何の苦労もなかったのですが、裏声を使う訓練が間に合わないまま初日を迎え、か細い声しか出せませんでした。その後のボイストレーニングで見事克服。「歌いこむほどに出るようになった」といまは素晴らしい歌声を聴かせてくれています。

一方、よくいわれるのがダンスシーンでつつい男役のクセが出て、女優をリードしてしまうという笑い話。退団してまだ日の浅い早霧せいなも「自分では気を付けているつもりでも手が自然に男役の振りになって」と笑います。

かと思うと朝海ひかるや安蘭けいのように「この人男役だったの」と言われるくらいすなりと女性役に溶け込むスターもいます。彼女たちには「男役も女役も演じることには変わりはない」らしいのです。でも、そんな彼女たちも宝塚OGたちが集まる舞台上、ひとたび男役を演じると、長いブランクがあつという間に消えて、しかも女性役

よりそっちの方がびったり。かの鳳蘭も「男役なら今でもまかせて」と笑います。女優としての彼女たちも魅力的ですが、彼女たちの男役のスキルが活かせる場があれば、日本の演劇界はもっと面白く、進化するかもしれません。



### 藪下哲司

映画、演劇評論家

大阪府生まれ。元スポーツニッポン新聞社特別委員。甲南女子大学非常勤講師などを歴任、現在は毎日文化センター宝塚講座、年2回発行の「宝塚イズム」（青弓社）編著者などフリーで活動。宝塚取材歴は約40年。「宝塚のマエストロ」の異名をとる。「宝塚伝説」（同）などの著書がある。

### BOOK

『舞台芸術』22号 3月末発売予定！

#### 舞台芸術 VOL.22 Spring 2019 〈劇場〉の現在形—— 「拡張」と「拡散」の間で

「〈劇場〉の現在形—拡張」と「拡散」の間で」に対して3つの視点から渡邊守章、きたまり、宮沢章夫、黒瀬陽平、蔭山陽太、三浦基らが発言。他にアジアにおける演劇教育（平井愛子）、ダンス教育（ナム・ジョンホ 山田せつ子）をはじめ論考多数を収載。

#### 木ノ下歌舞伎版『娘道成寺』の軌跡——2008-2018

きたまり

対談：〈3.11以後〉の「劇場」、またはメディア社会における〈ライブ〉の現在 宮沢章夫×黒瀬陽平  
インタビュー：100年続く小劇場は可能か—京都「シアターE9」という挑戦 蔭山陽太

来た球を打つ—アンダースローをめぐるアーティスト同士の対話— 三浦基 聞き手：村川拓也

“状況”をつくる高山明のプラクティス

片岡真実

ベルリン・劇場の現在——フォルクスビューネ問題を中心に——

岩城京子

アジアの大学における演劇教育—劇場を活用した舞台教育の方法論的探究

四か年の研究を振り返って

平井愛子

韓国芸術総合学校（K-ARTS）——大学におけるダンス教育をめぐる

ナム・ジョンホ 山田せつ子 森山直人

レクチャー：『猿之助アーカイブにみる三代目市川猿之助の世界』第三回フォーラム

翻訳：——ハンス＝ティース・レーマン『悲劇とドラマ演劇』より

翻訳：津崎正行

【企画・編集】京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 発行 KADOKAWA B5判 1500円(税別) 購入は各書店またはAmazonへ お問合せ：舞台芸術研究センター

5月11日(土) 14:30

春秋座

京都初、ファン待望のコンサート!

## 壮一帆 & 京フィル プレジャーコンサート in 春秋座

毎年恒例、スターを招いて行う京フィルとのジョイントコンサートです。

6回目となる今回は、元宝塚歌劇団トップスターの壮一帆をお迎えします。長身と長い手先を生かした、しなやかでキレのあるダンスと抜群の歌唱力で注目を集め、ファンから絶大な支持を得ています。

今回は、その美貌と凛々しさをふんだんにアピールし、パンチの効いた歌唱で宝塚やミュージカルの名曲、洋楽曲から和製ポップスまでジャンルを超えた数々のナンバーを、京都フィルハーモニー室内合奏団の壮麗な演奏に乗せてお贈りします。



出演：壮一帆  
指揮：牧村邦彦  
演奏：京都フィルハーモニー室内合奏団(管弦楽)

【全席指定・発売中】  
一般 6500円 友の会 5500円  
学生 & ユース席 3000円 (座席範囲指定あり)  
※未就学児童の入場はご遠慮下さい。

**託児サービス** 申込み期間：～4月26日(金) 17時 詳細は P.10 へ

T-C OTS e+ ぴあ 生協 新聞  
京フィルチケットセンター Tel.075-212-8744 (平日 10:00～19:00)

7月27日(土) 11:30 / 15:00

春秋座 特設客席

めにみえない生き物を探しに、  
おんなのこは森の中へー。

## 『めにみえない みみにしたい』

次代の演劇界を担う人材として注目を集める演劇作家・藤田貴大(マームとジブシー主宰)による、4歳から大人まで一緒に楽しめる作品、待望の京都公演です。しりとりやじゃんけん、しゃぼん玉なども取り入れ、会場全体が不思議な絵本のような世界に包まれる。目に見えない「なにか」を探る旅にこどもたちと一緒に出かけましょう。



作・演出：藤田貴大  
音楽：原田郁子 衣装：suzuki takayuki  
出演：  
伊野香織、川崎ゆり子、成田亜佑美、長谷川洋子

【全席指定・5月15日(水) 一般発売予定】  
一般 2000円 友の会 1800円  
学生 & ユース 1500円 こども(高校生以下) 1000円  
※2歳から要チケット、推奨年齢 4歳以上

**託児サービス** 申込み期間：～7月19日(金) 17時 詳細は P.10 へ

T-C OTS e+ ぴあ 生協

7月28日(日)～7月31日(水)に藤田貴大ワークショップ & 発表公演を開催します。詳細は劇場ウェブサイトをチェック!

2019年度 公開連続講座

## 「日本芸能史」～女性と芸能

日本は、女神信仰に起源を持つ女性の霊性が守ってきた国である。日本の古代のヒメ・ヒコ制は、邪馬台国の卑弥呼と弟の例がよく知られているが、邪馬台国に限られず、古代日本の各地で行われ、その伝統を受け、現在もヒメとヒコの名を持つ一対の神社が百社近くある。根底には神との交流能力の強い女性の霊性が兄弟を助けるという信仰があり、沖縄のおなり神信仰も典型例である。仏教や儒教の女性差別思想、欧米流男女平等観などの浸透で、姿を消したはずの女性祭祀が、伊勢神宮齋宮、宮中祭祀として継承され、伝統的家庭で女性の管理する神々が存在することも、女性の霊性ぬきに説明することはできない。

日本の芸能は女神を祀る祭祀から誕生した。本講座では、作品の主題、役者の演技、演出、劇場構造などの、細部にまで浸透している女性の霊性への信仰について考える。

企画・コーディネーター  
京都造形芸術大学 教授  
田口章子

## 【日程】

毎 回：月曜日 16:30～17:50

前 期：4月15日～7月15日（全14回）

後 期：9月23日～12月23日（全14回）

受講料各期：1万5千円

会 場：京都芸術劇場 春秋座（京都造形芸術大学内）

## 【受講資格】

学習意欲のある方なら、どなたでも受講いただけます。

## 【お問合せ・お申込み方法】

京都芸術劇場チケットセンター

tel.075-791-8240（受付：月～金曜日／10時～17時）

窓口にてお申込・お支払いいただくか、お電話にてお問合せ下さい。

## 前 期——

総論 祭りと女性	諏訪春雄
日本舞踊	藤間勤十郎
華 道	池坊専好
能	天野文雄
糸操り人形	十二代目 結城孫三郎（結城座）
狂 言	野村万作〔聞き手：天野文雄〕
説経浄瑠璃	若松若太夫
絵解き	小野俊成
曲舞（うたまい）	市比賣神社〔解説：木戸敏郎〕
上方舞	山村友五郎
歌舞伎	田口章子
相 撲	内館牧子
女性と芸能 小屋から劇場へ	諏訪春雄
壬生大念佛狂言	壬生大念佛講

## 後 期——

総論 女性と演技	諏訪春雄
長 唄	今藤政太郎
常磐津	常磐津都毘藏・常磐津都史
神 楽	小林泰三
講 談	神田松之丞
能	片山九郎右衛門
綾切の舞	大阪楽所〔解説：木戸敏郎〕
王権と女性	諏訪春雄
日本舞踊	坂東温子
狂 言	茂山忠三郎
京 舞	井上八千代
女義太夫	鶴澤津賀寿・竹本京之助 〔聞き手：田口章子〕
からくり	山田和人
乙女文楽	ひとみ座



壬生大念佛狂言（2017年度の舞台より）

4 14日(日) 13:00

春秋座舞台上

### 公開 研究会I 2019年PQ(プラハ・カドリエンナーレ) 出展作品のための研究事業

研究代表者：杉山 至

【料金無料】要事前予約

2019年6月にプラハで行われる、PQ19(プラハカドリエンナーレ2019)にて日本美術家協会が出展する参加型作品の展示、ワークショップを行います。

※詳細は劇場ウェブサイトにてお知らせします。

6 中旬予定

春秋座舞台上

### 公開予定 研究会II 「『4』上演の可能性を巡る劇場実験」

研究代表者：川村 毅

2018年度に開催した公開研究会トーク&リーディング「モノローグの可能性について」につづき、2020年度上演を目指す川村毅作演出『4』について、映像を含む劇場実験を行います。

※詳細は劇場ウェブサイトにてお知らせします。

4 20日(土) 16:00

春秋座

### 20周年記念コンサート 吉田兄弟「三味線だけの世界」

特集▶P.T2

【全席指定・発売中】

一般 6000円 友の会 5000円

学生&ユース席 3000円(座席範囲指定)

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

T-C OTS e+ ぴあ 生協 新聞

託児サービス 申込み期間：～4月12日(金) 17時

8 28日(水)、29日(木)

春秋座

### 尾上右近自主公演 第五回 研の會



【お問合せ】

尾上右近事務所

tel.080-4862-5858 / 070-3172-8010 (10:00～18:00)

※詳細は劇場ウェブサイトにてお知らせします。

5 25日(土) 14:00

春秋座

### 京舞と狂言

特集▶P.2

【全席指定・発売中】

一般 4000円 友の会 3500円 学生&ユース 2000円

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

T-C OTS e+ ぴあ 生協

託児サービス 申込み期間：～5月17日(金) 17時

託児サービス

料金：お子様1名につき1500円 対象：生後6ヶ月以上7歳未満  
予約・お問合せ：京都造形芸術大学舞台芸術研究センター  
Tel:075-791-9207 (平日10-17時)

T-C 京都芸術劇場チケットセンター OTS 劇場オンラインチケットストア

e+ イープラスー <http://eplus.jp>

ぴあ チケットぴあー <http://t.pia.jp> tel.0570-02-9999

生協 京都、滋賀各大学生協プレイガイド

新聞 京都新聞文化センター(京都新聞社1F)  
tel.075-256-0007(窓口のみ10-17時 ※土・日・祝除く)

KBS KBS 京都事業部  
tel.075-431-8300(電話のみ10-17時 ※土・日・祝除く)

\*記載のないものについての開場は開演30分前

\*特に表記のない場合、前売と当日は同じ料金

\*ユースは25歳以下対象(一部公演を除く)

\*学生・ユースは要身分証明書提示

カーテンコール

4月は大学周辺の疎水沿いや公園の桜が美しい季節。公演の後には少し足を延ばして銀閣寺や哲学の道の桜を散策するのもおすすめですよ。[S]

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター

tel.075-791-8240

営業：平日10:00-17:00・公演開催日

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

京都芸術劇場 春秋座・studio21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

tel.075-791-9207 fax.075-791-9438

E-mail. k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp

<http://www.k-pac.org>

京都芸術劇場友の会 会員募集中!

詳しくは [http://k-pac.org/?page\\_id=33](http://k-pac.org/?page_id=33)

## 9月からの主なラインナップ

9月21日(土)

### 春秋座オペラ 10周年記念・ガラコンサート

春秋座オペラにいままでに出演した歌手を中心とした豪華ガラコンサートです。



『蝶々夫人』(2013年)

9月

### 立川志の輔 独演会

### 猿翁アーカイブ フォーラム 第四回

11月

### KUNIO15『グリークス』

12月

### 木ノ下歌舞伎『娘道成寺』

12月14日(土)、15日(日)

### 鼓童 2019「道」

2020年2月11日(火・祝)

### 春秋座 一能と狂言

2020年2月

### シャンカル・ヴェンカテッシュワラン演出新作公演



## 募集中!

### 【京都芸術劇場友の会 会員】

《京都芸術劇場友の会》では、劇場の活動をより知っていただくため、会員の皆様に公演の詳しい情報をいち早くお知らせし、また、チケット割引や先行販売を通じて、少しでも早く劇場をご利用いただけるようサービスを行っております。ご用意できる特典はささやかですが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

#### 《会員特典》

- ① 情報誌「京都芸術劇場ニュースレター」(年3回)や公演チラシを定期的にお届け!
- ② 京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話・オンラインストア)で会員番号によるチケット予約、1公演お一人様2~4枚(公演により異なる)まで割引料金にて購入可能!  
※公演により、予約・割引のない場合、窓口・電話のみの対応の場合もございます。
- ③ 当劇場主催公演など、会員限定の先行販売あり!
- ④ 春秋座、studio21で行われる公開講座、公開シンポジウムなどもご案内!
- ⑤ 10年以上ご継続の会員様はプレミアム会員として、さらにお得な特典が受けられます。

#### 《入会方法》【年会費 2000 円/有効期限・入会日より1年間】

どちらかの方法をお選びください。

#### 1. 劇場チケットセンター窓口にてお申し込み

(窓口受付/月~金 10~17時)

#### 2. 郵便振替にてお申し込み

劇場郵便口座へ年会費 2000 円をお振込ください。

郵便局で青色の振込用紙にご記入ください。

(振込み手数料別途 100 円程かかります。)

[口座番号] 00970-7-176517

[加入者名] 京都造形芸術大学 京都芸術劇場

[通信欄] ①友の会 新規入会 ②お名前(フリガナ)

③生年月日 ④ FAX(あれば)

[ご依頼人] お客様の住所・氏名・電話番号

(わかりやすい字ではっきりとご記入ください。)

#### 【オンライン会員】 登録無料! 24時間ご予約可能!

選べる受取・お支払い方法! 公演情報をメールでお知らせ!

詳しくは、オンラインチケットストアへアクセス下さい。

(友の会にご入会いただくと、自動的にオンラインに登録いたします。)

#### アクセス

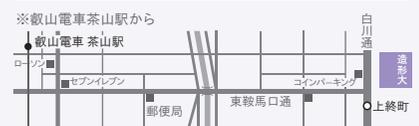
- JR・近鉄「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「河原町」駅から  
京都市バス5系統「岩倉」行きに乗車、「上終町京都造形芸大前」下車  
(「京都」駅から約50分、「三条」・「河原町」駅から約30分)
- 京都市営地下鉄「丸太町」・「北大路」駅(北大路バスターミナル)から  
京都市バス204系統循環「高野・銀閣寺」行きに乗車、  
「上終町京都造形芸大前」下車(約15分)
- 京阪電車「出町柳」駅から叡山電車に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩約10分
- タクシーご利用の場合、「京都」駅から約30分。地下鉄「今出川」駅から約15分  
(「京都」~「今出川」は地下鉄で約10分)

※所要時間はあくまで参考としての標準時間です。天候や交通事情により変わりますのでご注意ください。

※駐車場はございませんので、お車・バイクでのご来場はご注意ください。

発行日—2019年3月1日

発行/編集—京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター  
デザイン—吉羽 一之 (Simple Hope Design Room) 1~5P 撮影—桂香也  
京都芸術劇場ニュースレター vol.43





京都  
芸術  
劇場  
ニュースレター

shunjuza  
studio21  
Newsletter

特集

京舞と狂言

特集20周年記念コンサート

吉田兄弟「三味線だけの世界」

2P  
5P

2P  
5P

vol  
.43  
2019.3



20周年記念コンサート

吉田兄弟

「三味線だけの世界」

共に5歳より三味線を始め、津軽三味線の全国大会で頭角を現し、1999年にメジャーデビューを果たした吉田兄弟。それまでの津軽三味線のイメージと一線を画す彼らのデユオ演奏は世界でも認められ、日本の伝統芸能の枠を超えてワールドワイドに活躍するアーティストへと、瞬く間に成長しました。今年、デビュー20周年を迎えた吉田兄弟が、さらなる飛躍を遂げ、2年ぶりに三味線二丁で春秋座の舞台へ帰ってきます。

2019年4月20日(土) 16:00

会場：春秋座 出演：吉田兄弟

●公演情報の詳細はスケジュール一覧(P.10)をご覧ください。

— デビュー20周年という記念すべき年に春秋座で公演いただけるなんて、とても光栄に思っております。ついでこの間、デビューされたような気がするのですが、今の心境はいかがですか？

(以下、良一郎⇨良 健一⇨健)

健 僕らはデビュー時に「兄弟デュオ」とか「茶髪に紋付き袴」みたいなキャッチフレーズが付いたので、そのイメージがすごく強いでしょ(笑)。20周年という皆さんに「えー、そんなにたっちゃったの？」とよく言われるんです。でも、日本だけでなく海外での活動も含め、色々な実験をやりながら駆け抜けた20年だったなと思います。

— お二人は北海道が出身ですね。

健 はい。僕らは北海道にある佐々木流の家元について勉強しました。デビューしたのは僕が19歳で、兄が21歳の時。流派から出たのが15歳と17歳の時だったんです。当時、名取の話もあったのですが、タイミング良くというか悪くというか、その前に流派を離れることになったので。今はありがたいことに佐々木流の土台の上に吉田兄弟という新たなジャンルを作った感覚です。

— 理解のある師匠だったんですね。

健 すごく理解がある方でした。「ゆくゆく君たちは海外に出て行くことになるのだから」と稽古の前に英語の授業があるんです(笑)。ご自身も、よく海外で演奏されていて英語の必要性を感じられたみたいですね。ですから英語の授業の他に色々な国の民謡を教えられたよね。

良 そうそう。「こういう曲ができる」と海外で演奏す

る時に武器になるから」と『アリラン』『おおサンナ』『カチューシャ』などを教えてくれて。

健 師匠も英語を話せるわけではないんですが、知っている英単語を並べて教えてくださるんです。

良 カンパニーとかカントリーとか(笑)。

健 そこから始まるので稽古時間が長いんですよ。当時、師匠の元には100人ぐらい名取さんがいらしたんですが、大体が7、8人の合同稽古で時間は1時間〜1時間半ぐらい。一方、僕らは2人で習うのですが2時間以上かかるんです。子供なので教えることをスポンジのような速さで吸収していくのが面白くなっちゃうんですね。ご飯食べて、また稽古するとか。そういうことがよくありました。

— 津軽三味線は楽譜で教えられるのですか？

健 楽譜は、ほぼないですね。一応、普通の民謡はギターというタブ譜のような3本線に数字が羅列してあるものがありますが、僕ら兄弟間では楽譜はないです。

良 ある意味、決まりがないので若い人たちも新しいことにチャレンジできたり、作曲できるのが津軽三味線の面白いところですよ。

— 曲が作れるといえば、オリジナル曲『ライジング』

なんか聴くと、まさにロックですよ。その他にもギターのリフ(繰り返し演奏するコード進行)やブルースみたいなフレーズもあります。デビュー前から随分色々な音楽を聴いて勉強されたのですか？

健 僕は色々なジャンルの音楽を聴き始めたのはデビューしてからで、それまではJPOPしか聴かなかったんです。

ちょうどデビュー前にオリジナル曲を書く機会があったて、その時、どうやったらお客さんに曲を覚えてもらえるのか考えたんです。というのも津軽三味線は基本、アドリブばかりで口ずさめるフレーズがないんですね。これが津軽三味線の音楽が広がらない理由だということに気が付いて、サビのある曲を作ろうと思ったんです。

そんな時に最初に出会ったのがフラメンコで、パコ・デ・ルシア(フラメンコやジャズで活躍したスペインのギタリスト)から入って、ギターや民族音楽が好きになりました。だから当初は随分、色々な音楽を聞きましたね。その中で三味線と合うものはどれかを常に考えていました。

そして曲ができるのと兄貴に渡すのですが、当時、兄貴は高校を卒業して浅草の民謡酒場に修行に行っていたので、どっぷり民謡に漬かっているんです。だから僕が作る曲と全然合わないんですよ(笑)。

良 揉み手の手拍子の世界にいましたから(笑)。

健 それなのに僕はタテノリの曲を作っていますからね。まあ合わない(笑)。

良 今は平気で弾いていますけれど、当時は本当に大変でした。

— 多感な年頃を一緒に過ごさなかったんですね。

健 逆にその3年がそれぞれの個性を作ったんです。良 作曲もそうで、弟はリフを作るのが得意なのでリフから入るんですが、僕は民謡をやっていたせいかメロディーから入るんです。メロディアスな曲は僕ですね。

健 だから曲を聴いたら、すぐにどちらが作ったかわ

かりますよ。

## 不器用が自分たちの武器

**健** 曲を作る時や他のアーティストとコラボする上で大事にしているのは、三味線でピアノやギターっぽいことをやらないということです。より津軽三味線や伝統的なフレーズや進行を活かせる場所はどこだろう、吉田兄弟でやることの必然性は何だろうと常に考えて作っています。

— ギターやピアノっぽいことはしないと。

**健** しませんね。というのも僕たちは不器用なのが武器なんです。

— え！お二人は不器用なんですか？

**健** 楽器も不器用だし、僕らも不器用ですね。だから色々な楽器やジャンルの音楽と戦えるんです。器用な人はコラボする相手に合わせてギターっぽいフレーズがでがちやう。そうすると三味線で弾いてもギターになっちゃうんですよ。

**良** 「これはギターでいいよね」と言われてしまったら、僕たちはもう終わりです。ギターにはない、三味線だからできるフレーズを入れられるのが一番の強みですね。それがあある意味、色々な方とコラボをしてもブレない、三味線が活きたコラボになっているんだと思います。

**健** さらに僕たち、五線譜が読めないんです。あえて読まないようにしています。不器用が器用になったとたん何かを失っちゃうんじゃないかと怖くて。僕、アレンジも作曲も自分の耳でやるんです。一度、大学の先生に楽譜を習いに行ったんですが「そもそも音楽っ

て気持ち良いか、悪いかしかなから、耳でそれができているんだったら、五線譜を学ばなくてもいいじゃない？」って言われて。

ですが誰かと一緒に音楽をやる時、最初に共有するのは楽譜ですよ。今の若い子たちは楽譜を見て2、3日で演奏できちゃう。でも僕たちは音で覚えるから弾けるまでに時間を有するんです。身体に入ったものしか外に出せないから身体に入れる作業が必要なんです。そうじゃないと自分の音が鳴らないんですね。それが僕らの不器用さであり武器ですね。自分の武器が何かと明確にするのは、ミュージシャンやアーティストなら、みんな考えることですよ。

ですから後輩たちに言いたいのは、「これ、吉田兄弟がやっちゃったからダメだ」と言われがちですが、それなら僕たちの前には高橋竹山というものすごい人がいたわけです。そこを超えるために何を武器にするか考えないといけないんですね。それが一番、大事だと思います。

## 津軽三味線はカッコいい

— 吉田兄弟を見て聴いて憧れた子たちが育ってきて、津軽三味線奏者として活躍し始めていますね。

**健** 今や演奏者の中心が中高生ですからね。そこに和に興味を持ち始めた大学生が加わってくる感じですが、しかも大学に津軽三味線のサークルがあって、そこからプロ奏者が始めています。サークルが従来の流派に取って代わってきているんです。

— つまり早稲田大系とか？

**健** まさにそんな感じですよ。東京では早稲田大学から

サークルがスタートしたのですが、そこに参加していた慶応、明治、お茶の水大学の子たちが、今度は自分たちの大学で新たにサークルを作っていくんです。これが今、どんどん増えています。師匠を付ける大学もあれば、付けない大学もあって。僕もたまに練習におじゃましています。

**良** 僕たちが子供の頃、津軽三味線をやっていると「そんなジジくさい楽器をやるなんて」って、ある意味バカにされたんです。ですから、ずっとこのカッコイイ音楽を多くの人に聴いて欲しいと思ってやってきたのですが、20年活動して、やっと世間の津軽三味線を見る目が変わってきた気がしますね。

— 吉田兄弟を知ってもらっただけでなく、津軽三味線のカッコよさを知ってほしいと。

**健** もう、それが一番ですね。それに津軽三味線の歴史はまだ150年ぐらいで進化の途中なんです。だから僕たちは進化を止めないよう、昔と今、未来を繋ぐ架け橋の役目があると思うんです。

それに僕が大学に目を向けている理由の一つに大学で三味線をやって僕たちと交流した子が、卒業してプロにならなくても三味線を経験した思い出は残るわけですから。だから、その先も津軽三味線のスポンサーしてくださいね(笑)、という30年後を見据えての活動でもあります。20年前に始めたことが今に繋がって、今やっていることが30年後に繋がっていくと思っています。そして、そのためには自分たちは「光」であり「トッブ」であり続けたいと思います。

ヲタ芸からクラシックまで

**健** 今、春に向けてCDのリリース作業をしています



(左) 兄・良一郎、(右) 弟・健一

す。実は今回、ヲタ芸（コンサートなどでファンによる独特な動きを伴った踊りや掛け声）とコラボをしているんです。ヲタ芸の中でサイリウムダンスと呼ばれているのがありまして、一つの日本文化として認められ、世界大会まであるんです。

少し前に流れていた缶酎ハイのCMで、俳優の高橋一生さんの後ろで踊っていたヲタ芸の人たちは、Ginjuforce（ギンジュ特戦隊）というヲタ芸のプロ集団なんです。以前、彼らの所属事務所の社長さんとお会いした時、彼らはアニソンなど既存曲ばかりで、書き下ろし曲で踊ったことがないというので「じゃあ書きます！」といって作ったんです。それが第2回世界大会のテーマソングになったので、今年、世界中のオタクがこの曲で踊りまくるわけです（笑）。

— これはヲタ芸の歴史を変えてしまいますね。

健 そうですね。GinjuforceさんはサザンオールスターズのPVに出たり、世界中でパフォーマンスをしているんです。そういう異ジャンルの人とやる面白さをまた、今年も仕掛けようと思っていて。これがその一弾です。5月にはバルセロナ交響楽団との「三味線のための協奏曲」が初演を迎えます。

— どこで初演するんですか？

健 バルセロナです。僕が文化庁の文化交流使としてスペインに行っていた3年前にスタートした企画なのですが、指揮者の大野和士さんと話している中で「津軽三味線のための協奏曲をやったら絶対面白いからやろう！」ということになり、カタルーニャ出身のフェア・サントコフスキーという若い作曲家に作曲を依頼しています。7月には東京のオーチャードホール

などで日本公演をやります。

良 CDをリリースして、オタ芸をやってクラシックやって、今年は幅広くやります！（笑）

### 春秋座コンサートのこと

— 春秋座でのコンサートはバンドを入れず、三味線二丁で演奏するスタイルですね。まさに二人の原点回帰ともいえると思いますが。

健 そうですね。それをデビュー20周年を前にさせてもらえるということは嬉しいです。

— 今、お二人はコラボやバンドでやることが多いと思いますが、そんな中、二人だけで演奏するのはどんな感じですか？

健 いやー、もう修行です（笑）。

良 コラボだと音と音の間の空白を他の楽器が埋めてくれるんですが、二人だと色々な意味で、そこを埋めないといけないので、本当に修行なんですよね。

— それはスリリングですね（笑）。

良 スリルです（笑）。

健 二人とも休んだら無音になりますしね。

今回は、オリジナル曲はもちろん、『津軽じょんがら節』も演奏させていただきます。これは兄弟といえどライバルとして演奏しますので、そのスリリングさも楽しんでいただきたいと思います。

良 そしてテレビやCDでは体験できない生の音色、弦の揺れを劇場で体験して欲しいなと思います。音の波動を聴きに来てほしいです。

— 楽しみにしています！ありがとうございます。